

全業種では若干の悪化も、製造業はプラスに転じる

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の134社。2位が「人材養成・確保」の61社。「従業員の不足」が48社で3位。
- ★ 「働き方改革への取り組み」について、「積極的に取り組んでいる」の40社（17.9%）と「様子を見ながら徐々に取り組んでいる」の76社（33.9%）を合わせ半数以上の事業所がすでに取り組みを開始。一方、「現時点では具体的な取り組みの予定はない」と回答した事業所も85社（37.9%）あった。
- ★ 「現在の雇用人員」について、137社（60.6%）が「適正」と回答。「過剰」がわずか9社（4.0%）に対し、「不足」が80社（35.4%）と人手不足の状況が続いている。

平成29年4～6月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成29年6月に実施した第109回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回は109回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は231社（小売業70社、卸売業29社、製造業32社、建設業52社、運輸・交通業15社、観光・サービス業33社）で回収率は46.2%。

【概況】

今期（4～6月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲18.3と、3ヶ月前の前回調査から2.9ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の1.3%、「やや好転」が17.8%で、逆に「やや悪化」が32.6%、「かなり悪化」が4.8%だった。売上DIも▲13.8から1ポイント悪化の▲14.8。採算DIは4.4ポイント改善の▲18.7。全体的には、時期的な影響もありやや悪化。原材料（商品）仕入価格は16.8から21.0と引き続き高値で推移。

今回事業所に対し、「現在の雇用人員」について尋ねたところ、60.6%（137社）が「適正」と回答。過剰と回答したのはわずか4.0%（9社）に対し、35.4%（80社）が「不足」と回答。

また「働き方改革への取り組み」については、「積極的に取り組んでいる」17.9%（40社）と「様子を見ながら徐々に取り組んでいる」33.9%（76社）を合わせ、半数以上が「取り組んでいる」と回答し、「今後取り組む予定」10.3%（23社）を含むと62%が何らかの取り組みもしくは予定をしていることが分かった。一方、4割近い37.9%（85社）は「現時点では具体的な取り組みの予定はない」と回答。

大企業に比べ、人手不足と人材確保が難しい中小・小規模事業者だからこそ「働き方改革」に取り組まないと、人手不足により受注することができない、サービスを提供できないといった事業活動に支障を及ぼす可能性もある。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に名乗りを挙げた三次市に対し、「三次市のスポーツ振興に繋がる」「今後のスポーツ合宿誘致に繋がる」など6割（60.2%）が好意的に受け止める。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI	（好転割合）－（悪化割合）
売上DI	（増加割合）－（減少割合）
採算DI	（好転割合）－（悪化割合）

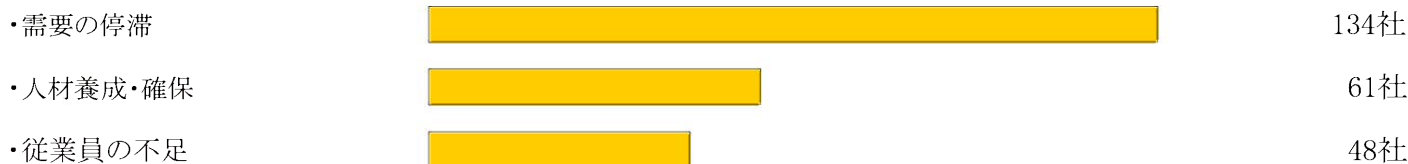
業況は、全業種合計で今期▲18.3。業種別では、卸売業、製造業、観光・サービス業の3業種で改善。製造業（▲25.8→▲6.3）がプラスに転じたのに対し、建設業（3.6→▲13.5）と運輸・交通業（11.8→▲46.7）がマイナスに転落。

売上は、全業種合計で今期▲14.8。業種別では、業況同様、卸売業、製造業、観光・サービス業の3業種で改善。ここでも製造業は9.4とプラスの値。売上が増加した主な理由は、「取引先の好転・増加」と「季節的な増加」。

原材料（商品）仕入価格は、全業種合計で今期21.0。運輸・交通業を除く5業種で上昇傾向。運輸・交通業の回答から燃料価格は下降気味。

採算は、全業種合計で今期▲18.7。業種別では、小売業、卸売業、製造業、観光・サービス業の4業種で改善。ただ、観光・サービス業においては▲45.2→▲31.3と改善はしているものの、全業種の中で最も悪い値。製造業は、業況、売上同様、プラスの値（9.4）。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



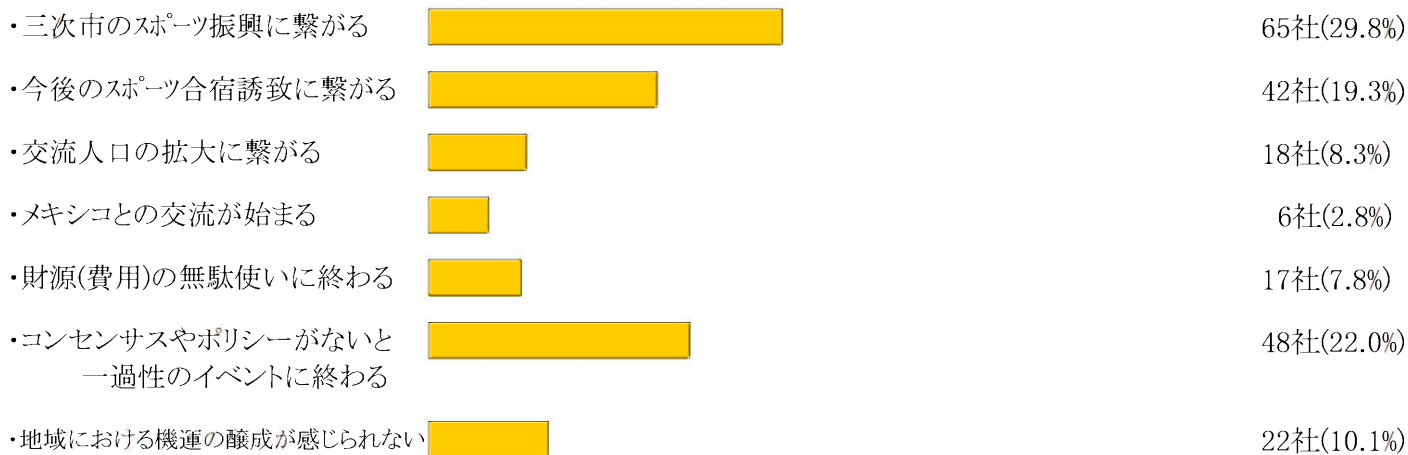
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【現在、貴社での「働き方改革」への取り組みはどうか？】



【2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿について、
三次市でも合宿誘致に名乗りを挙げておりますが、どう思われますか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 18.3	▲ 13.5
小売業	▲ 25.7	▲ 14.3
卸売業	▲ 20.7	▲ 20.7
製造業	6.3	▲ 6.3
建設業	▲ 13.5	▲ 13.5
運輸・交通	▲ 46.7	▲ 20.0
サービス業	▲ 18.8	▲ 9.4

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 14.8	▲ 10.4
小売業	▲ 21.4	▲ 11.4
卸売業	▲ 13.8	▲ 20.7
製造業	9.4	▲ 3.1
建設業	▲ 17.3	▲ 11.5
運輸・交通	▲ 20.0	▲ 13.3
サービス業	▲ 18.8	▲ 3.1

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

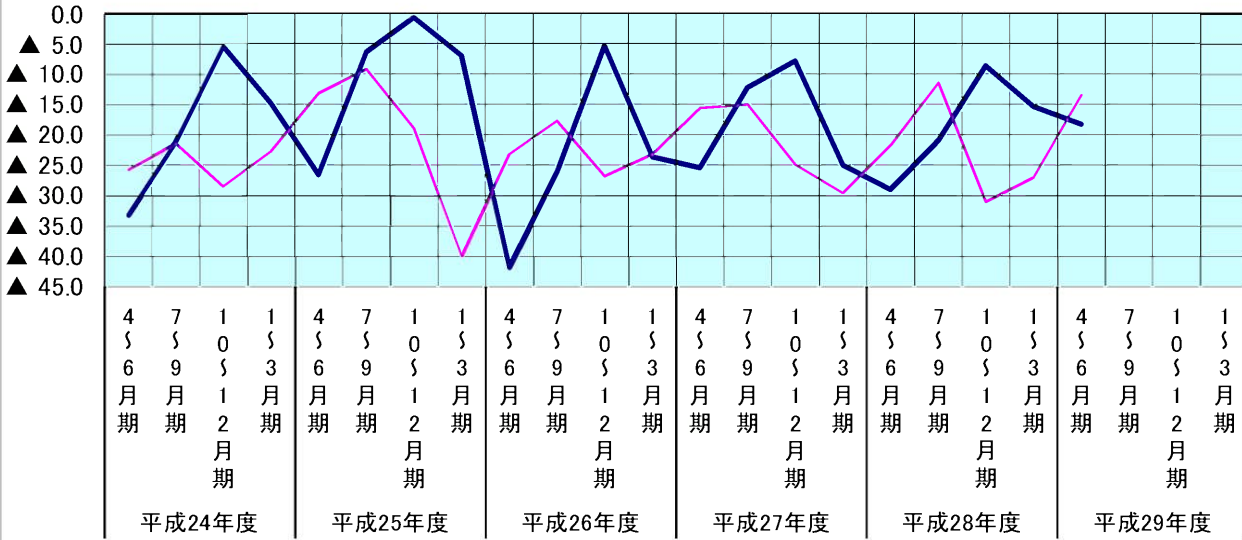
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 18.7	▲ 16.1
小売業	▲ 20.0	▲ 12.9
卸売業	▲ 20.7	▲ 27.6
製造業	9.4	▲ 3.1
建設業	▲ 25.0	▲ 21.2
運輸・交通	▲ 20.0	0.0
サービス業	▲ 31.3	▲ 25.0

(好転割合－悪化割合)

全業種

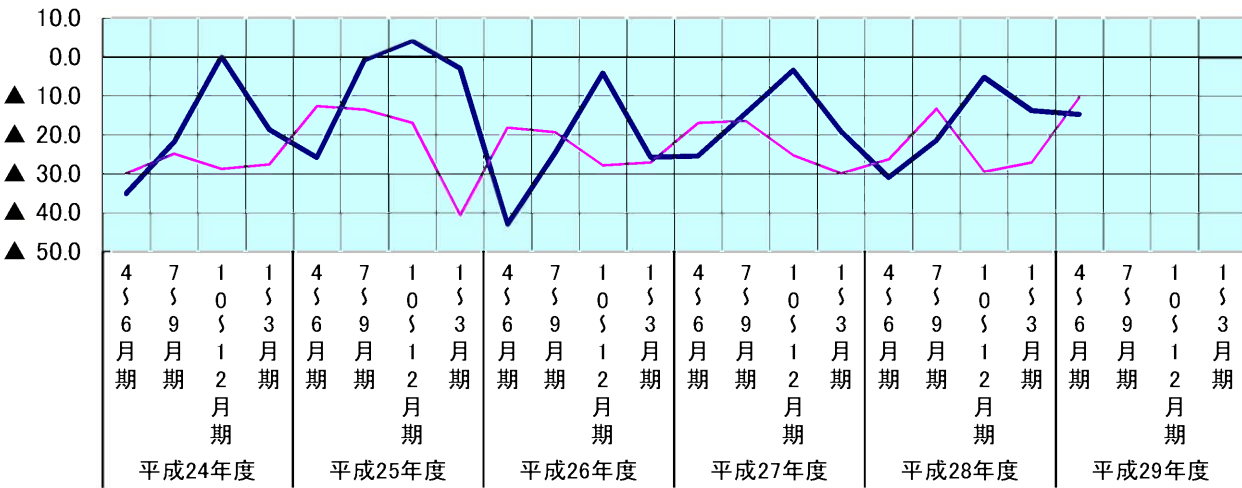
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し

